

服部 ゆくお 氏

堀越 秀生 氏

| | | | |
|---------------------|---------------------------|---|---|
| 基本的な考え方 | 目指すべき像 | <p>私は2期8年の任期中に、区の目指す将来像である基本構想「世界に輝くひとまちたいとう」を策定し、区民や事業者の皆様とともに各分野の施策を着実に推進してきました。これからも、台東区が将来にわたり、魅力にあふれ活力に満ち、住んでよかった、暮らしてよかったと実感していただけるまちを目指します。</p> | <p>区民の暮らしと地域経済を守り 世界に愛される歴史・文化都市 たいとう</p> |
| | 現状認識 | <p>新型コロナウイルス感染症の影響に加え、原油価格や物価の高騰により区民の生活や事業者の活動は大きな影響を受けています。また、社会的な課題である、少子高齢化の進行や孤独・孤立問題の顕在化について深刻さを増しています。一方で、デジタル技術の急速な進展、脱炭素化に向けた動きの加速化など、社会の変革が加速していると認識しています。</p> | <p>コロナやウ露戦争など、国際政治・国内経済の変化に伴うスタグフレーションの急襲、それに因る影響が数年続くと予想される。そんな中、区の社会基盤である区民生活の疲弊と経済格差が顕著になる。また、地域経済を支える企業・商店等のコロナ後の問題、具体的にはゼロゼロ融資後の返済・借換、リスタートのための人材確保・経営継続などが困難なフェーズに入ると認識。</p> |
| | 課題解決した課題 | <p>区政の課題は山積しています。教育環境の整備、子育て世帯や高齢者、障害者の方々に寄り添った支援の充実などを進めなければなりません。特に、文化、観光、地域産業の振興、商店街の活性化は急務です。また、今年に関東大震災100年の節目の年、推進会議を立ち上げ、防災・減災対策をさらに推進します。</p> | <p>区民と行政の意識乖離、また区民感情・地域経済の現状と遊離した行政政策が散見される事が課題。この解決のため、従来の既存団体とだけの偏った情報共有を改善。また行政DX（IT化）を促進し、区公式HPやSNSなどを活用した要望収集と分析、即時性のある効果的な政策を区民・地域経済に発信する事が大切。このシステム変革はアンケート後半にある「重要政策推進」にも不可欠。</p> |
| 重要課題解決のための政策 | 第1優先分野【教育・子育て】 | <p>教育は国の基本であり、そのためには学校・PTA・地域が一体となって取り組む必要があります。私は都議会議員の時、当時の石原都知事に質問し、次代を担う子供連の教育に関する取組を都民全体で推進するため、毎年11月の第1土曜日の「教育の日」の制定を実現しました。同時に、子供・子育て支援など教育環境の整備を図ります。</p> | 第1優先分野【産業政策】 |
| | 第2優先分野【産業政策】 | <p>地域産業の振興のため、「台東区産業フェア」は東京都中小企業振興公社と連携し開催しています。また、企業の経営力向上を図り、新たな挑戦・成長を後押しするため、ビジネス支援ネットワークを通じて、専門相談員による相談や、新製品・新技術の開発、販路開拓などを支援し、区内中小企業の競争力を高めていきます。</p> | 第2優先分野【社会保障】 |
| | 第3優先分野【安全・防災・震災復興】 | <p>台東区は、災害期に備えるため、今まで避難所単位防災訓練を18回、避難所運営委員会も計45回開催しています。さらに防災協定も結び、①荒川氾濫が発生した時の避難困難者の移動支援のため、台東区と近畿日本ツーリズムとの協定 ②災害時におけるドローンの活用に関する協定 ③災害時の栄養食生活支援活動に関する協定等を締結しました。今後、防災備蓄品等の購入助成など、官民一体となった取り組みを進めてまいります。</p> | 第3優先分野【行政・議会改革】 |